

# 県連だより

OITA CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

No. 102

September 2019  
大分県生活協同組合連合会

〒870-0278 大分市青崎1-9-35  
TEL 097-527-4056 FAX 097-527-4084

おおいたの生協



第66回通常総会



大刀洗平和会館内



日生協虹のひろば



浦頭引揚祈念資料館にて

## CONTENTS

大分県生協連合会第66回通常総会開催	2
被ばく・終戦74年新たな気持ちで 「第28回親子で考える平和のつどい」	4
2019ピースアクション in ナガサキ	9

## OITA CO-OP TOPICS

生活協同組合コープおおいた	14
日田市民生活協同組合	15
グリーンコープ生活協同組合おおいた	16
大分県学校生活協同組合	17
大分大学生生活協同組合	18
大分県職員生活協同組合	19
大分県労働者総合生活協同組合	20
大分県労働者医療生活協同組合	21
大分県医療生活協同組合	22
大分県福祉生活協同組合	23
大分県労働者福祉協議会	24

# 大分県生協連合会第66回通常総会開催

第66回通常総会は、2019年6月20日(木)に大分市中央町「ソレイユ」において、加盟12生協から代議員49名中出席代議員39名、委任出席10名、県連役員14名が出席して開催されました。

通常総会は、松浦和規理事が進行し、大分県労働者総合生協の古本直也代議員が議長となり、最初に理事会を代表して県生協連青木博範会長理事より、各会員生協・組合員の県連活動への協力に対する謝意と、来賓の皆様へ御礼の言葉が述べられた後、『昨年は6月に大阪北部地震、7月に西日本豪雨、9月に北海道胆振地震など、大規模な災害が発生し、多くの尊い命が失われました。衷心よりお悔やみを申し上げますとともに、今なお苦しい生活を余儀なくされている被災者の皆様にはお見舞いを申し上げます。今年もすでに山形県沖地震が発生しています。

“災害は、必ず起きる”と想定した普段の準備と心構えが大切です。全国の生協では、大規模災害の都度、緊急支援物資の調達から搬入、職員や組合員が復旧・復興支援活動に参加しており、今後も、行政や災害ボランティアセンターなどと連携した取り組みを強めていきます。

昨年の日本生協連の通常総会で「コープSDGs行動宣言」を採択し、誰一人取り残さない、誰もが安心して暮らし続けられる地域社会の実現に貢献していくことを決めました。県生協連も全国の生協と一緒に、17ある目標のうち7つの目標「住み続けられるまちづくり」「貧困をなくそう」「平和と公正」「ジェンダー平等」「つくる責任・つかう責任」「健康・福祉」「エネルギー・気候変動」に取り組み、持続可能な社会の実現をめざします。最後に、少子・高齢化社会が急速に進む中、社会保障制度改正による負担増や消費税の増税など、生活者を取り巻く環境はますます厳しくなってきます。だからこそ、助け合いの精神を大切に活動する私たち生協が、組合員と一緒に、力を合わせ、生協活動を広げていくことが求められており、今後とも、皆様のご支援、ご協力をよろしく願いいたします。』と挨拶があり、来賓挨拶として、大分県消費生活・男女共同参画プラザ石松久典所長、原田幸子課長補佐、首藤英樹主幹を紹介した後、宮迫敏郎大分県生活環境部長よりご挨拶、続いて、大分県労働者福祉協議会の滝口元二郎専務理事、日本生協連九州地連の鈴木浩文事務局長、大分県消費者問題ネットワークの安岡正義理事長よりご挨拶を受けた後、橋本敏雄議事運営委員長より総会の議事進行について説明があり、審議に入りました。

第1号議案の2018年度活動報告と決算報告、剰余金処分案は太田耕作専務理事より提案があり、江藤隆康特定監事より2018年度監査報告の後、全員異議なく承認可決、第2号議案の2019年度活動方針・計画と予算案は太田耕作専務理事より提案され、全員異議なく承認可決、第3号議案の役員報酬決定は青木博範会長理事より提案され、全員異議なく承認可決、第4号議案の役員選任補充は高瀬宏一役員選考委員長より提案され、全員異議なく承認可決。総会は一時休憩となり、その間に第1回理事会が開催され河原伸明専務理事を互選し、再開後の総会に報告され、承認。その後の新旧役員挨拶では、退任する太田耕作前専務理事、松浦和規理事、新任の河原伸明専務理事、金子道彦理事、首藤俊一理事より挨拶があり、第5号議案の退任役員慰労金は青木博範会長理事より提案があり、全員異議なく承認可決、第6号議案の議案決議効力発生は河原伸明専務理事より提案があり、全員異議なく承認可決されました。

最後に、後藤哲也理事の閉会挨拶で総会は終了しました。

## 2019年度 役員名簿

役職名	氏 名	所 属	生 協	備考
会長理事	青 木 博 範	生 協 コ ー プ	お お い た 理 事 長	
専務理事	河 原 伸 明	員	外	新任
理 事	後 藤 哲 也	日 田 市 民 生 協	専 務 理 事	
理 事	日 隈 健 一	グ リ ー ン コ ー プ 生 協	お お い た 専 務 理 事	
理 事	高 瀬 宏 一	大 分 県 学 校 生 協	専 務 理 事	
理 事	三 重 野 修 次	大 分 県 高 校 生 協	専 務 理 事	
理 事	金 子 道 彦	大 分 大 学 生 協	専 務 理 事	新任
理 事	政 丸 佐 智 夫	大 分 県 職 員 生 協	専 務 理 事	
理 事	首 藤 俊 一	自 治 労 大 分 信 販 生 協	専 務 理 事	新任
理 事	森 徳 夫	大 分 県 労 働 者 総 合 生 協	常 務 理 事	
理 事	橋 本 敏 雄	大 分 県 勤 労 者 医 療 生 協	専 務 理 事	
理 事	田 辺 修	大 分 県 医 療 生 協	専 務 理 事	
理 事	辛 島 サ ツ キ	大 分 県 福 祉 生 協	常 任 理 事	
監 事	江 藤 隆 康	生 協 コ ー プ	お お い た 専 務 理 事	
監 事	萩 原 潤	グ リ ー ン コ ー プ 生 協	お お い た 常 務 理 事	



退任理事挨拶



新任理事挨拶

## 被ばく・終戦74年新たな気持ちで 「第28回親子で考える平和のつどい」

県生協連では、7月27日(土)に「第28回親子で考える平和のつどい」を、県内の生協組合員やその家族118名が参加して実施しました。

今年は被ばく・終戦74年となることから、新たな気持ちで「戦争と平和」について考えることが、重要であり、戦争体験者は年々少なくなっており、記憶の継承が大きな課題となっている今、私たちは歴史から学び、どのように未来を描いていけるのか、戦争の悲惨さ、平和の大切さを後世につなぐために、「親子で考える平和のつどい」を企画し、再確認するために、近隣県と大分県内の戦争遺跡めぐりを実施しました。

### 【福岡県大刀洗の戦争遺跡めぐりコース】

大分・別府地区からバス1台45名が参加しました。

この地はかつて陸軍大刀洗飛行場があり、太平洋戦争末期には特攻隊員たちが飛び立った場所です。大正8年当初に「飛行第四連隊」があり、大戦を控え、熊本県菊池に移動、昭和14年に開隊した航空技術兵学校、別名西部第百部隊と呼ばれ、最大で6,000名の航空技術兵が在籍し、飛行機機体・機関発動機・板金・精密機械・鉄砲火器・通信機器・落下傘など航空機に関する全てを教わっていました。

終戦直前の昭和20年3月27日と31日に米軍機の二度にわたる爆撃により、600人を超える尊い命が奪われ、同時に立石国民学校の児童が避難した頓田の森で小学生24名が投下された爆弾で爆死、病院へ担ぎ込まれた児童7名も息を引き取りました。

こうした戦争遺跡である大刀洗では、第五航空教育隊正門、憲兵分遣隊舎の煉瓦塀、時計台跡（現在は慰霊碑）・監的壕・飛行隊井戸。頓田の森・北飛行場跡、平和の碑を見学し、最後に筑前町が「平和への情報発信基地」として作った平和祈念館を見学しました。

この地に旧陸軍が東洋一を誇った大刀洗飛行場を中心とする一大軍都が存在し、米軍の大空襲で壊滅的な被害を受け、多くの尊い命が奪われた戦争遺跡として、過去の歴史を振り返って見れる数少ない施設となっています。

### 【大分県佐伯市・臼杵市の戦争遺跡めぐりコース】

大分・別府地区からバス1台36名、日田地区からバス1台37名が参加しました。

最初に佐伯市鶴見町丹賀浦の山の上にある丹賀砲台跡を見学しました。この砲台は1926年10月に着工、1933年9月完成し、山の中に縦と横のトンネルを掘り、砲台には砲身14メートル20センチ、45口径30センチのカノン砲2砲が作られ、弾の飛ぶ距離は約26.8キロメートル、対岸の愛媛県と豊後水道への敵の侵入を防ぐために作られました。

1942年1月11日に実施された実弾訓練の際、試射の最後の1発砲弾が砲塔内部で暴発、16人が即死、28人が重軽傷を負ったため、砲台は使われることはなくなりました。今は戦争遺跡として砲身のあったドームと砲塔井のらせん階段、弾薬庫跡があり、広場には亡くなられた兵士や鶴見町から戦場に行き戦死した方を祈念する平和の塔がありますと、鶴見町のガイド広津留由紀子さんが説明してくれました。

次に、佐伯平和祈念館を訪れました。1934年に海軍佐伯航空隊が開隊し、豊後水道一帯の防衛の任にあたり、太平洋戦争の発端となった真珠湾攻撃の前には佐伯湾に連合艦隊の機動部隊

が結集して、模擬演習が行われたこともあり、佐伯市はたびたび激しい空襲を受けて多くの市民が犠牲になりました。この歴史的な背景を鑑み、痛ましい史実を後世に正しく伝え、二度と戦争を繰り返さないと訴えるため、1997年4月、旧海軍兵舎の跡地を公園化した「ふれあい公園」の一角に、平和祈念館「やわらぎ」が開館されました。周辺には、各種特殊地下壕、掩体壕、通信所、火薬庫、機銃砲座等多くの戦跡があり、今なお当時の悲惨さを語り続けています。

最後は、臼杵市の防空壕を訪ね、持ち主である斉藤行雄さんにガイドしていただき見学しました。

この防空壕は臼杵市平清水の福良天満宮の真下に阿蘇溶結凝灰岩の岩盤を採掘した巨大な防空壕です。壕内は10畳敷の部屋と炊事場、便所、貯蔵庫を備える平清水エリアと150人が収容できるホールと小部屋からなる福良エリアがあり、両エリアはS字状の斜路1本で繋がりが、壕内随所に燭台立ての後、カンテラ掛けの金具等があり、隣保班同士で避難できるように工夫されて作られていました。



ゼロ戦闘機



大刀洗慰霊碑



丹賀砲台跡地



大刀洗平和会館にて

## 参加者作文

### 平和のつどいで学んだこと

日田市民生協 小6 平野 拓海

戦争めぐりで学んだことは2つあります。

一つ目は、丹賀砲台の中で実射訓練で試射最後の一発がばく発して、中にいた十六人全員が亡くなった事です。亡くなった人がどんなに無念だったかと思うと、とてもかわいそうに思います。2つ目はぼうくうごうです。ほるときにばくだんなどを使っていたことがわかり、中には一五十人という人数が入れることもわかりました。実際に中に入ってみるととても暗くライトだけではこわかったし、とても中は蒸し暑かったです。このことを知って今生きていることがどんなに幸せかつづくと思いました。とても勉強になった一日でした。

### 平和のつどいで感じたこと

生協コープおおいた 小5 竹野 美鈴

初めて「親子で考える平和のつどい」に参加しました。

佐伯の丹賀砲台園地では、初めに急斜面を登るケーブルカーに乗って上へ行きました。

昔は、ケーブルカーで武器を上運んで、人は階段を走って登り、歩いてはいけなかったと聞いて、いつでも気をひきしめていたんだなと感じる事ができました。

臼杵の斉藤さんの家にある防空壕の見学にも行きました。中に入ってみると真っ暗で参加している皆さんがかい中電灯をつけていても暗かったです。私は防空壕に初めて入り、たくさんの穴があって想像とはちがっておどろきました。中は、工夫がたくさんされていました。戦争で戦っていた人の勇気・気持ちを改めて学ぶことができました。

これから、私が平和のために・困っている人を助けるために何ができるか考えながら、一日一日を過ごしていこうと思います。良い経験がたくさんできました。ありがとうございました。

### 戦争遺跡めぐりを体験して

生協コープおおいた 葛城 正和

佐伯という地に丹賀砲台という立派な施設があった事を知りました。

試射の暴発事故は痛ましく、16名の尊い命が失われましたが、それにより丹賀の人々の命が助かったことが救いでした。

日常生活を不自由なく送れている事をかみしめながら、イルカ島などのコースを巡りましたが、平和な時代が続くように、自分ができる事は何かを考え、できるかぎり、見聞きした事を伝えていきたいと思いました。

親として平和のメッセージを子供たちに伝え続けたいと思い、参加しました。死を覚悟した兵士たちが家族へ残した手紙や遺書を見ました。家族の悲しみは計り知れないと思います。今、平和である世の中に感謝します。そして、もう二度と戦争がないことを願っています。

これからも平和のつどいは、子供たちへ語り継がれることを願っています。参加してよかったです。ありがとうございました。

この度、親子で考える平和の集いに友達と二人で参加させて頂きました。

梅雨明けのとても暑い日でしたが見学先の大刀洗の資料館から始まり、ボランティアさんの説明は車窓からではありましたが戦争についてのお話を聞くことが出来とても貴重な体験をさせて頂きました。

大刀洗と言う地名は聞いたことはありましたが、あれほどまでに戦争と深く関わっていた土地ということをお恥ずかしいことですがこの年になって初めて知りました。

資料館では、若者たちが自分の命をかけて戦闘機に乗る前の心境を書いた手紙には、どんな気持ちで乗ったのか、親の気持ちはどうだったのか、子を持つ親としてとても心が痛みました。

改めて、戦争の悲惨さと現在の平和をかみしめることが出来ました。このような悲惨な戦争は二度と繰り返してはいけないことを子や孫に伝えて行かなければと痛感しました。

お世話係の皆さんをはじめ、この企画に携わっていた方々、ありがとうございました。

福岡に行く際、時折通る大刀洗。母とバスツアーで訪れ、この地に空襲という悲しい歴史があったことを初めて知った。

平和記念館に展示されている横断幕には、出征する息子や兄弟へのはなむけの言葉が並んでいる。しかし実際に見送る時には、皆涙を流していたそう。大切な我が子・兄弟が命を落とすことをわかっていながら、送り出す家族の悲しみはどれ程のものだっただろう。

兵士達の遺書にはどれも家族をいたわる言葉と、国を守るために死にゆく覚悟が記されていた。そのほとんどが私より年若い少年が書いたものであることに、胸が張り裂けそうな気持ちがあった。

人は驚く程の速さで、過去を忘れていく。だからこそ、戦争の歴史を語り継ぎ平和を維持していかなければならない。炎天の下、空襲の跡が残るレンガ塀を見つめながら、強く心に思った。

今回「大刀洗地区戦争遺跡めぐり」に参加させて頂きました。

大刀洗は大正8年に陸軍の飛行場ができ、それ以降東洋一の飛行場として多くの優秀なパイロットを育成し、また特攻隊員達の出撃を見送った場所でもあったそうです。館内には、ゼロ戦や97式戦闘機の展示の他、若い兵士の手紙の展示もあり、彼らの家族への思いと覚悟に胸がしめつけられるようでした。

その後向かった鳥栖アウトレットでは皆が楽しそうに平和を満喫していました。先ほど戦争遺跡を見てきた私には、まぶしすぎるほどの明るさでした。

子供のころ戦争の話を聞くと、それはとてもとても遠い昔の話だと思っていました。しかし、年齢を重ねるにつれ、あの戦争はさほど遠い昔の話ではなかったことに気づかされます。戦争で亡くなった方々のことを大切に思いながら、平和が続いていきますようにと願ってやみません。貴重な一日を過ごさせて頂き、感謝申し上げます。



戦争も核兵器もない平和な未来を  
～ナガサキ・ヒバクシャの想いを継承し、日本・世界に広げよう～

## 2019ピースアクション in ナガサキ

日本生協連合会と長崎県生協連合会は、毎年8月7日・8日にピースアクション in ナガサキを開催しており、大分県生協連合会も毎年参加しています。

今年は、7生協と県連事務局、大人18名、中学生1名、小学生7名の26名がバス1台で参加しました。

8月7日は、8時30分に学校生協を出発し、大分駅、日田市民生協を経由しながら、13時頃佐世保市に入り、最初に「無窮洞」を見学、ここは国民学校の生徒達だけで昭和18年から20年の終戦の日まで掘り続けたという防空壕跡であり、中は教壇や教室、食糧庫、炊事場、便所等があります。「無窮」とは極まりがなく無限という意味だそうです。

次に、「針尾送信所（国指定重要文化財）」を見学、この施設は日露戦争を契機に大正時代に建設された無線塔（3基）・電信室であり、無線塔は鉄筋コンクリート製で高さ136m、基底部約12mの煙突状の構造であり、1基あたり現在の50億円、総工費約250億円が費やされ、近年、日本の技術発展を象徴する近代化遺産として重要文化財に指定されています。ここから太平洋戦争開戦の暗号「ニイタカヤマノボレ1208」を送信したとも言われています。

次に、「浦頭引揚記念資料館」を見学、終戦後、海外からの引揚者629万人の内、浦頭港に上陸した日本人は約140万人（遺骨・遺体を含む）であり、疲労困憊の中、DDTでの消毒後、佐世保引揚援護局（現在のハウステンボス）まで歩き、手続き後、故郷に向かわれました。昭和25年に佐世保引揚援護局は閉局、佐世保市は、当時の悲慘な引揚げの体験を後世に伝え、世界の恒久平和を願う歴史的な遺産として永遠に残すため、昭和61年に浦頭引揚記念公園・資料館を建設、引揚者を含む全国から寄付金が寄せられました。

8月8日は、佐世保市から長崎市に入り、白血病と闘いながら被爆者への救護活動に努めた永井博士が過ごした家である。「如己堂」を車窓から見ながら、「平和公園」に入り、翌9日の記念式典準備で慌ただしい中、平和記念像の前で集合写真を撮り、「平和の鐘」と「原爆落下中心地碑」に、参加した小中学校を中心に折鶴を捧げました。その後、「原爆資料館」では各参加者は自由に見学しました。10年前と違って資料館は立派にリニューアルされており、原子爆弾の恐ろしさや悲慘さをよりビジュアルに訴えかける内容になっていました。

午後は、長崎市民会館に移動し、「ナガサキ虹のひろば」に参加しました。長崎大学チアリーディング部によるオープニングの後、来賓の田上長崎市長が挨拶中に松井広島市長を飛び入りで紹介し、核廃絶を訴え続ける両市長の握手に会場は大きな拍手で包まれました。

日本生協連合会の本田代表理事会長の主催者代表あいさつの後、学習講演「核兵器をめぐる世界の動きと私たちにできること」と題して、NPOピースデポ事務局長として長年にわたり核軍縮に取り組み、2012年の長崎大学核兵器廃絶研究センター開設に伴い赴任した中村桂子准教授より、世界の核兵器の実情や今後の動向、私たちにできる取り組みについて、クイズ形式で解りやすい参加型の講演がありました。

僕はこのツアーで修学旅行では体験できなかった色々な場所で見学できました。

無窮洞では二年間かけて掘ったと聞いた時そんなにかかるんだと感じました。しかし、見学していくうちにとっても広く丁寧に造られていました。そして、見学が終わったあとにはたった二年間で出来るんだという気持ちになっていました。案内して下さったボランティアの横山さんは「戦争はダメ」と言っていました。なぜボランティアをしているのかということを考えて僕たちに戦争を語りつぎたかったからだと思います。だから僕も次の世代に伝えていきたいです。

バスから見えた一本鳥居、原爆資料館にあったとけた瓶などから戦争のすさまじさを学ぶことができました。世界には多くの核爆弾があります。それをなくすことが「平和」への近道だと思います。

大分県学校生協 矢田 啓一郎

今回家族で参加させてもらいました。ピースアクションでは、長崎の平和公園だけでなく、今まで行ったことのない戦跡や資料館に行けました。まずは無窮洞という防空壕。驚いたのは当時の中学生が掘ったということです。柔らかい石を掘削したそうですが、その広さから考えただけでも気の遠くなるような作業であったと思いました。

次に浦頭引揚資料館。北は樺太から南は東南アジアまで延べ約629万もの人々が日本に帰ってきた資料を見ることができました。当時の様子を考えると胸が痛い思いがしました。2日目は「虹のひろば」という集会に参加しました。印象的だったのは核兵器の話です。世界には約13880もの核兵器が存在し、より威力の増した兵器に生まれ変わっているということ。私たちは唯一の被爆国として、これからもこの「虹のひろば」のような核廃絶に向けた取り組みを続けることの大切さを感じました。平和についてたくさん学習できた2日間だったと思います。最後に子どもたちに何が一番心に残ったか尋ねると、「ハウステンボス！」と即答(笑)。ただ「戦争はだめや。これからは平和にしないとイケん。」と言ったのを聞いて、子どもたちにとってもよい学習の機会になったと思いました。いい体験ができました。ありがとうございました。

大分県学校生協 松原 文昭

8月の暑い長崎に降り立った。74年前の長崎へ思いを馳せながら参加した。

1日目は佐世保に残る戦跡を巡った。無窮洞は戦時中に先生と生徒により掘られた防空壕で、教壇や教室などが造られていた。強固な岩石を奥深くまで掘り進められ、相当な覚悟と労力であったろう。「無窮」に込められた、極まりがなく無限、の思いが時を超えて響く。

旧佐世保無線電信所は旧海軍が建てた送信施設。当時このような高層の建物を建てる土木技術があったことに驚いた。開戦を告げた「ニイタカヤマノボレ」を送信したともされる遺産。当時としては高度な無線技術の影には、想像を絶する労働従事者の苦しみがあっただろう。

2日目、祈念式典を翌日に控えた祈念公園。死没者の台帳が運び込まれ、祈念像の佇まいはピンと張り詰めた雰囲気に見えた。時が過ぎようとも人々の願いは絶えない。

「長崎虹のひろば」では長崎・広島両市長から核兵器廃絶と恒久平和の誓いが示された。生協が平和な世界の実現に向け、強い決意で運動を進めていることに頭が下がる。子どもと向き合いながら、平和の尊さを一生考えていく。

## ピースアクション in ナガサキに参加して 佐伯市立松浦小学校 清家 美保

長崎には何度か足を運んだことがありますが、今回のピースアクションでは、これまで全く知らなかった場所へ連れて行っていただきました。長崎といえば「原爆投下された街」としての認識しかなく今回はとても勉強になりました。

米軍佐世保基地があることすら忘れていました。「ムキュウドウ」という名前を聞いたとき、それが何なのか全く予想もつきませんでした。先生の指導の下、現在であれば中学生に当たる生徒たちが手掘りで作り上げた防空壕『無窮洞』。きれいに整形されたとても立派な洞窟でした。

「針尾送信所」の雄大さにも驚きました。百年も前にどうやってこんな大きなものを作ったのか、私の頭にはその姿を想像することすらできませんが、別の形の平和学習をすることができました。立派なホテル・おいしい食事、とても有意義な二日間でした。

## 「ピースアクション」に参加して 佐伯市立米水津中学校 成迫 則子

長崎には数回行ったことがありましたが、今回のようにたくさんの戦争に関する跡地を回ったのは初めてでした。私が一番印象的だったのは、旧宮村国民学校の防空壕として、当時の生徒と先生達が全員で掘ったり整形したりして作った「無窮洞」です。「無窮洞」の主洞は幅5メートル、奥行き19メートルの大きさがあり、石を削って作られた立派な教壇がありました。私はそこに立ってみました。すると戦時中、空襲におびえながらも、瞳を輝かせ、自分の未来を信じ、一所懸命に勉強している子ども達の姿が見えたような気がしました。「無窮」とは極まりがなく、無限という意味です。たくさんの無限の可能性を持った子ども達の命を奪った戦争は絶対に許せないと心から憤りを感じました。

二学期から私はまた教壇に立ちますが、目の前の子ども達が自分の無限の可能性を發揮し、生き生きと過ごせる平和な世の中を作っていくという思いを更に強くもち、毎日の教育活動に取り組んでいきたいと思いました。今回の「ピースアクション」に参加をしてとてもよい勉強になりました。

## 佐志生小学校 甲斐 宙

8月7日、8日の2日間「ピースアクション in ナガサキ」に参加させていただきました。

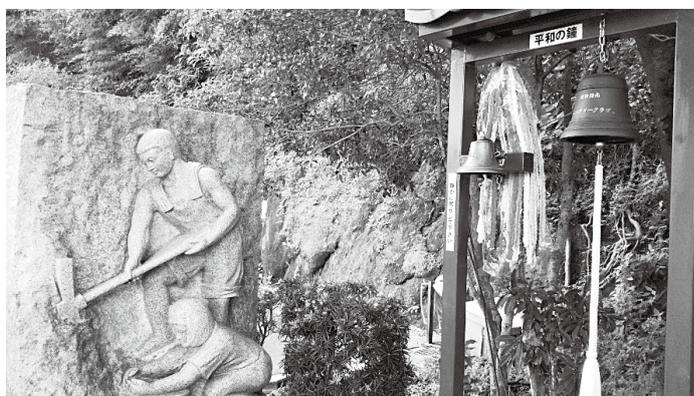
1日目は佐世保市内を回りました。外部の労力や爆薬などを使わず教師と生徒の力だけで掘られ「無窮洞」と名付けられた防空壕や、浦頭引揚記念資料館では、改めて戦争の悲惨さを感じました。また、針尾送信所の電波塔では、137mもの高さのコンクリートの塔が100年前に建てられたものだという事に驚きました。

2日目の「虹の広場」での学習講演はクイズを交えたわかりやすいものでしたが、十分に13380発の核弾頭の恐ろしさを感じることができました。

2日間とも有意義で、しかも無理のない計画だったので、腰痛持ちの私も安心して参加できました。特に1日目に巡った佐世保市の戦跡や資料館では初めて知ることも多く、参加してよかったと思うと同時に、若い仲間たちにもより多く参加してもらいたいと思いました。

このような素晴らしい旅行ができたのも、若いながらもよどみなく解説をしてくださった歌の上手なバスガイドさん、弓張岳展望所への細いつづら折りの道を含む九州横断往復の長い距離を安全に運転してくださった運転手さん、そして、臨機応変に運営してくださった生協関係のスタッフの皆さんのおかげです。本当にありがとうございました。

8月7日～8日に、「ピースアクション in ナガサキ」に参加してきました。これまで小・中・高で平和学習をしてきたり、4年間大学生活を長崎で過ごしたりしたにも関わらず、佐世保の無窮洞や針尾送信所、浦頭引揚記念資料館の存在は全く知りませんでした。二日目に行われた「虹のひろば」の中で、「核兵器のない世界を可能にするかしないかは私たち次第である」という言葉がありました。まさにその通りです。人間にとって一番大切な、たった一つしかない「命」を簡単に奪ってしまう悲惨な戦争を繰り返すことは絶対に許されません。



戦後74年となり、戦争がどこか遠い出来事のように感じられている現代だからこそ、私たちは過去をしっかりと学び、平和の尊さを受け継いでいかなければならない、そんな思いを新たに2日間でした。

ありがとうございました。



ピースアクション in ナガサキには、選ばれないだろうなと思いながら参加を申し込みましたが、見事に選ばれ、初めての長男と二人きり旅行がスタートしました。

行きの道中です。休憩にバスが立ち寄った高速道路のサービスエリアで長男が早速転けてしまい、膝と肘を血だらけにしてバスに帰ってきました。念のためと思い、大きめの絆創膏を手持ちカバンに持参していたのが幸いしました。

そんな中で到着した最初の目的地である弓張岳展望所。素晴らしい景色に長男も痛みを忘れて感動していました。続いて、到着した、戦時中に掘られた防空壕である無窮洞。防空壕はこれまで数多く見てきましたが、規模・精巧さ、どれをとっても今までに見た防空壕の中で一番素晴らしいものでした。そして、それを掘ったのが小中学生だということに更に驚かされると同時に、何年もかけて防空壕を掘らないといけなかった戦争の痛ましさを感じました。その後も数多くの場所に行き、数多くの思い出ができました。

まだまだ書きたいことはあるのですが、あまり長くなりすぎるのも申し訳ないので割愛します。今回は、長男とともに素晴らしい経験をさせていただき、本当にありがとうございます。次回は、初めての次男と二人きり旅行にチャレンジしたいので、何卒よろしくお願いします♪



長男のケガ



疲れて眠る長男  
(帰りのバスにて)



戦時中に小中学生が掘った防空壕の内部



戦時中に使われていた電波塔

防空壕の中に教壇まで有り !!!

136m !!!

## 生活協同組合コープおおいた

## はじめてばこ出発式

6月10日(月)

“はじめてばこ”とは大分県で生まれた赤ちゃんへ“生まれてきてくれてありがとう”と感謝の気持ちを込めた贈り物です。中身は童謡カードや各企業からのお祝いの品々を詰め合わせています。中身を取り出した箱には、はじめての服や靴のような思い出の品を入れて10年後20年後に振り返ることもできます。

コープおおいたは“はじめてばこ”の配送を行なっており、その出発式をコープおおいた青崎本部にて執り行ないました。主催するTOSテレビ大分の園田社長より祝辞をいただき、県内で生まれた赤ちゃんのもとへと向かいました。

4月よりCMやHPで募集を開始し、7月20日(土)時点では1,000件以上のお申し込みをいただきました。より多くの子どもたちを祝福する為、今後も広く展開していきます。



## 大分市との包括連携協定締結

6月20日(木)

大分市とは平成9年2月に「災害における応急生活物資供給等に関する協定」を結んでおり、さまざまな取り組みにおいても協力しています。県下最大の消費者組織となつたいま、地域社会の一員として多様化する組合員のくらしの変化に対応するとともに、地域が抱えるさまざまな課題の解消と持続可能な地域社会をめざし、地域の発展に寄与したいと考えています。



## ふくしまっ子応援プロジェクト9

7月20日(土)～24日(水)

今年で9回目を迎える“ふくしまっ子応援プロジェクト”は大分県社会福祉協議会、生活協同組合コープおおいた、エフコープ生活協同組合（福岡県）、コープさが生活協同組合（佐賀県）が協力して福島の子どもたちを九州に招待し、各県で夏を満喫してもらう企画です。

コープおおいたは田ノ浦ビーチで海水浴とスイカ割り企画を企画し、海に入ると「しょっぱい!」「クラゲがいる!」「魚もいる!」と楽しそうな声が聞こえてきました。スイカ割りが始まると「違う!違う!そっちじゃない!」「もう少し右!」「おいしい!」と大盛り上がりでした。全員でスイカを食べた後はまた海へと向かい、時間いっぱい遊びつくしました。また、来年も心を込めた企画を開催できればと思います。



## TOPICS

# 日田市民生活協同組合

## 主な活動紹介



### 日田市民生活協同組合 コープおおいた日田センター合同 第25回 平和のつどい



## 平和のつどい

平和活動の取組みとして、コープおおいた、遺族会、被団協の皆様とともに開催しています「平和のつどい」も今年で第25回を迎えました。

慰霊と共に不戦、平和への誓いを新たに致しました。

## 環境保全 マイバッグ運動

1991年より取り組みを開始した『マイバック運動』ですが、多くの組合員の皆様のご理解とご協力により、今年2019年6月には94.0%を達成いたしました。

よって、組合員との約束により現時点ではレジ袋の有料化は実施いたしておりません。



## 店舗イベント

2-3ヶ月に1回、組合員さんお楽しみ企画といたしまして、店舗においてじゃんけん大会やさいころゲームなど開催し、多くの組合員さんに楽しんでいただいております。

その際、たすけあい共済についてのご相談などもお気軽に受けております。

## グリーンコープ生活協同組合おおいた

### 商品の確かさを確認する活動

グリーンコープ生協おおいたでは今年度より、組合員自身がメーカーや生産者を訪れ、きちんとグリーンコープの基準を守って製造・出荷されているかを確認するための視察（商品の確かさを確認する活動）を行うこととしました。

5月16日(木)に、商品おすすめ委員など7名で、組合員に人気のGC「いちごジャム51」を作っている日田市の大山町農業協同組合にお伺いしました。午前8時より稼働している衛生管理された工場内に立ち入り、GC「いちごジャム51」の製造工程一つひとつのラインを実際に見学しました。

原料いちごの「さがほのか、さちのか、ゆめのか」で、北海道産ビートグラニュー糖、クエン酸（レモンなど柑橘系が原料）、ペクチン（さとうきびやさつまいもが原料）、美味しい地下水なども使用していました。また、商品名の「51」は糖度の割合で甘さ控えめです。品質を守るための温度管理や、組合員からの要望で可能になった消泡剤不使用の時間をかけた脱気の工夫、原料庫にはグリーンコープ基準内のものだけが置かれていて、グリーンコープと約束した内容で商品を作っていました。

これからも各メーカーさんなどを訪問し、商品の確かさを確認して組合員に広くご案内していきます。

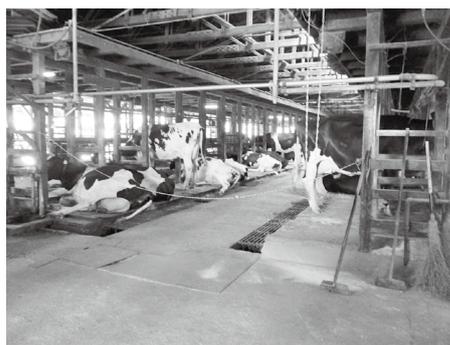


### 酪農生産者交流会

5月23日(木)に熊本県菊池市で酪農生産者交流会が開催され、おおいたからは2名が参加しました。交流会では、組合員から集めた手紙を冊子にして生産者に贈呈、各単協の報告やアピールグッズの紹介もありました。

グリーンコープのびん牛乳は、菊池市にある22の農場で作られています。11年前、特別な牛乳を作りたいという思いでnon-GMOの飼料を与えた牛乳作りを始めたという生産者さんのお話を聞いたり、農場視察では搾乳牛が30頭程いる牛舎が、学校を改築していて風通しも良い環境であることなどが分かりました。

後日、今年 i T Q i 国際優秀味覚賞に出品した「産直びん牛乳ノンホモ」「パスチャライズ」がともに受賞！といううれしい報告が届きました。生産者の方々が大変な思いをして、私達が飲む安心・安全な、評価される牛乳を作ってくれていることに感謝し、これからも産直びん牛乳を大切に飲んでいく必要性を伝えていきます。



## 大分県学校生活協同組合

## 第28回親子で考える平和のつどい

7月27日(土)大分県生活協同組合連合会主催の「親子で平和を考えるつどい～大分周辺の戦争遺跡めぐり～」が開催されました。今年、福岡県大刀洗地区にある「大刀洗記念館」を見学するコースと佐伯地区にある丹賀砲台跡地・平和祈念館「やわらぎ」と臼杵地区に残る屋敷余り特殊地下防空壕を見学する2コースがあり、学校生協からは2名が参加しました。



大刀洗地区参加 林 紀子

今回「大刀地区洗地戦争遺跡めぐり」に参加させて頂きました。大刀洗は大正8年に陸軍の飛行場ができ、それ以降東洋一の飛行場として多くの優秀なパイロットを育成し、また特攻隊員達の出撃を見送った場所でもあったそうです。館内には、ゼロ戦や97式戦闘機の展示の他、若い兵士の手紙の展示もあり、彼らの家族への思いと覚悟に胸がしめつけられるようでした。



その後向かった鳥栖アウトレットでは皆が楽しそうに平和を満喫していました。先ほど戦争遺跡を見てきた私には、まぶしすぎるほどの明るさでした。

子どものころ戦争の話を聞くと、それはとてもとても遠い昔の話だと思っていました。しかし、年齢を重ねるにつれ、あの戦争はさほど遠い昔の話ではなかったことに気づかされます。戦争で亡くなった方々のことを大切に思いながら、平和が続いていきますようにと願ってやみません。貴重な一日を過ごさせて頂き、感謝申し上げます。

大刀洗地区参加 林 まゆ

福岡に行く際、時折通る大刀洗。母とバスツアーで訪れ、この地に空襲という悲しい歴史があったことを初めて知った。平和記念館に展示されている横断幕には、出征する息子や兄弟へのはなむけの言葉が並んでいる。しかし実際に見送る時には、皆涙を流していたそう。大切な我が子・兄弟が命を落とすことをわかっていながら、送り出す家族の悲しみはどれ程のものだっただろう。

兵士たちの遺書にはどれも家族をいたわる言葉と、国を守るために死にゆく覚悟が記されていた。そのほとんどが私より年若い少年が書いたものであることに、胸が張り裂けそうな気持ちでした。

人は驚く程の速さで、過去を忘れていく。だからこそ、戦争の歴史を語り継ぎ平和を維持していかなければならない。炎天の下、空襲の跡が残るレンガ塀を見つめながら、強く心に思った。



## 大分大学生生活協同組合

### 大学生の学びと成長を支援 4年間を通したトータルサポート

#### 社会に出るためのサポートを

大学卒業後は就職し社会人として活躍することが求められます。そのため、在学中は専門的な学習や研究だけでなく、サークルや部活、アルバイトを通して社会経験を積む必要があります。またインターンシップで視野を広げ、また自己分析を通して自分は何がしたいのか、どの分野で活躍したいのかを見つめ準備する時期でもあります。

そこで大分大学生協では、購買や食堂だけでなく大学卒業後に自身が希望する仕事に就くことが出来るよう、講座を通して組合員のサポートを行っています。

2017年からはさらに学びと成長の支援ができるよう大学4年間を通した総合的な講座運営に取り組んでいます。

#### 入学直後から！公務員試験対策講座の開講

公務員を志望する組合員のため、大分大学キャリア支援課と共催した公務員試験対策講座を開講しています。これまでは2年生後期スタートの入門コース、3年生前期スタートの本講座を行っていましたが、2018年からは新たに新入生向け公務員講座を開講し入学直後から公務員になるための支援を始めています。2019年の受講生は100名を超えており、公務員に対する注目度が高いことがうかがえます。

近年の公務員採用試験は面接や集団討論などの配点が高い、人物重視の試験になっており、学業だけでなくサークルやアルバイト、ボランティアなどの社会的な経験が深く質問されます。そのため、講義では筆記試験である一次試験対策だけではなく、グループワークや自己分析を取り入れ知識や自身の将来について具体的なイメージが持てるよう取り組んでいます。また、ボランティア活動として地域の清掃活動への参加や、大分県庁の方をお招きした県庁出前講座を開講するなど様々な企画、取組を行っています。

大学入学後から「社会にはどういった人物が求められているのだろう」とイメージを深め、自ら行動、経験することで組合員が思い描く進路に進めるようサポートしています。



【地域の清掃ボランティアに参加】

#### 感覚で学ぶ！超感覚英語講座

2017年より“感覚”で学ぶ超感覚英語講座を開講しています。

大学院の進学や就職活動のエントリーシートにTOEICの点数記入欄があるなど、以前にも増して英語のスキルが求められています。大分大学生協では英語が苦手な学生でも楽しく学べるよう、“1つの単語に1つのイメージ”を持つ、“感覚”で学習する超感覚英語講座を週1回開講しています。2019年は275名の新入生が受講しており、今までとは違った形式での英語学習を楽しみながら進めています。

またこの講座の特徴は4年間いつでも受講できるということです。海外への留学や就職活動、大学院進学などの「英語を学び直したい」と思う理由、タイミングは組合員それぞれで異なります。自身が必要な時に何度でも受講しなおせる環境を整えることで4年間通じた学びを提供し、将来の支える英語スキルの定着をサポートしています。



【超感覚英語講座 講義の様子】

## 大分県職員生活協同組合

### 第55回通常総代会に退職者組合員傍聴参加

2019年6月11日に第55回通常総代会を自治労会館で128名（委任状出席含む）の総代参加のもと開催しました。今回初めて退職者組合員の傍聴参加がありました。今後、退職者組合員の総代選出に取り組みます。

全国府県生協では、青森、栃木、群馬、富山、長野、京都、大阪、香川などで退職者組合員の参加があります。

### 組合員サービスの強化に向けて

2018年度は県庁内売店の公募に応募しましたが獲得できませんでした。県庁内のサービス売店も3月末で県庁内から撤退し自治労会館売店で事務局と一体運営しています。県庁内から売店が撤退して初めて経常黒字を達成しましたが、今後、組合員サービスの強化に向けて各種事業の展開を図っていきます。6月には自治労会館売店に入りづらいといった組合員の声を反映して入り口ドアの透明ガラス化と「おんせん県マーク・ロゴ」を使用して入りやすく改装しました。今後、ホームページも情報発信の充実をめざして見直していきます。



### 県職員生協45周年事業「県産酒を知ろう」盛大に開催

県職員生協は1973年10月発足。45周年記念事業として、大分のお酒・焼酎のPR活動を行っているNPO法人「大分県地酒・焼酎文化創造会議」による出張展示・試飲の会を2月7日県庁舎新館13階「ぶんど」で県職員互助会と共催して行いました。

大分県産の焼酎100銘柄と県産日本酒を試飲しながら県産食材を使った料理を楽しみ、大分の良さを再確認しました。

日 時：2019年2月7日(木) 18:00～20:00

開 会・乾 杯 大分県職員消費生活協同組合理事長 溝口慎一郎

説 明・試飲会 NPO法人「大分県地酒・焼酎文化創造会議」

場 所：県庁舎新館13階「ぶんど」

参 加 者：120人募集

参加資格：県職員生協組合員及び県職員互助会会員

主 催：大分県職員消費生活協同組合、一般財団法人大分県職員互助会



参加者を120人募集したところ現職組合員106人、退職者組合員30人から申込があり、当日は120人以上の参加者で盛り上がりました。

また、試食として各振興局からの地域イチ押しの逸品とともに鶏の唐揚げ（竹田）、赤鶏の炭焼き（耶馬溪）、干し椎茸の南蛮漬（国東）、カレー（県産豚「米の恵み」）など県産品を使用した料理で楽しいひとときを過ごしました。

## 大分県労働者総合生活協同組合

## 住宅事業について

## 【分譲部門】

下記3団地にて建築条件付宅地好評販売中です。  
詳細は下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

- ◇大分市大在地区（角子原）「あすみの丘」
- ◇大分市南生石「ビューステージ高崎台」
- ◇別府市鶴見「新別府」



## 【リフォーム部門】

戸建住宅の外壁や屋根の葺き替え、キッチンやお風呂など、様々なリフォームを扱っています。お客様のご希望に合ったプランのご提案をさせていただきます。

【問合せ先】大分県総合生協住宅課 0120-557-887

## 旅行センターについて

## ◇「レゾネイトクラブくじゅう」宿泊プラン

【2019年4月1日(月)～2019年9月30日(月)まで】 1泊2食付 9,980円から

- <お得なポイント> ・60分貸切湯無料（要予約） ・1部屋2名様も同料金  
・休前日利用でも1,000円UPのみ

## ◇「忘新年会プラン」

【2019年11月1日(金)～2020年2月29日(土)まで】

大分県内協定旅館・ホテル、大分市内ホテル、居酒屋関係の手配もしております。  
幹事さんのご要望に沿ったさまざまな施設のご提案をいたします。

## ◇大分市内・別府市内宿泊プラン

【2019年4月1日(月)～2020年3月31日(火)まで】

大分市内、別府市内での会議、懇親会後の宿泊として皆様にご利用いただいております。  
大分市内：6施設 別府市内：5施設を設定

## 総合生協中央パーキングについて

## 【時間貸し料金】

- ・昼間（8時～18時）45分100円 昼間最大800円
- ・夜間（18時～8時）60分100円 夜間最大500円



## 【お得なプリペイドカード】

- ・10,000円券を7,200円で販売
  - ・5,000円券を4,200円で販売
- \*おさるのマーク、「大分市中心市街地共通駐車券」の加盟駐車場です。  
全労災ソレイユや大分市中心部商店街にご用の際は是非ご利用下さい。  
なお、おおいたパーキングNaviで、駐車場の空き情報もわかります。



## 大分県勤労者医療生活協同組合

## すこしおレシピコンテスト最優秀賞受賞

全国の医療福祉生協の集まりである日本医療福祉生協連合会では、「すこしお生活（少しの塩分ですこやかな生活）」を目指す取り組みの一環として、「すこしおレシピコンテスト」を開催しています。当生協からも2年ぶりに応募し、1食部門で最優秀賞を受賞することができました。

女子栄養大学からは「油や減塩調味料（しょうゆ）、こく出汁調味料（ケチャップ）、香味野菜からスパイス、酸味、出汁などあらゆる減塩ワザを駆使して完成度が高い。献立としても重なりがなく、ごはんを出汁炊き飯にするなど細やかな配慮に脱帽！」とのコメントをいただきました。

5品合わせて、「塩分 1.9g」興味のある方は、ぜひトライしてみてください。



## ①だし炊き飯 &lt;材 料&gt;ご飯 150g、昆布 0.5g

<作り方> 1. 炊飯器に乾燥昆布を入れる。 2. 白飯を炊く

## ②“黒酢だれ”で食べる豚肉のかりかり焼き

<材 料> ・豚もも薄切り肉 100g ・酒 大さじ 1/4 ・小麦粉 適量 ・ごま油 大さじ1/4  
★小ねぎ 1g ★黒酢 大さじ1/2 ★減塩しょうゆ 大さじ1/2  
★砂糖 大さじ1/2 ★ごま油 大さじ1/4 ★七味唐辛子 0.5g

<作り方> 1. 豚もも肉に酒をまぶして10分おく。汁気を取り、小麦粉を薄くまぶす。  
2. フライパンにごま油を熱し①を焼いて器に盛る。  
3. ★の材料を全て合わせて豚肉にかける。炊飯器に乾燥昆布を入れる。

## ③ケチャップ入り卵焼き

<材 料> ・たまご 1個 ・にんじん 10g ・ケチャップ 4g

<作り方> ・たまご、千切りしたにんじん、ケチャップを合わせた卵液で焼く。

## ④茄子のカレー風味サラダ

<材 料> ・なす 1本 ・ピーマン 1個 ・ミニトマト 1個 ・カレー粉 0.7g ・塩 0.3g

<作り方> 1. 茄子は焼いて皮をむき、刻んで水気をしっかり取る。  
2. トマトとピーマンはみじん切りにし、水気をしっかり取る。  
3. 全ての材料を合わせて混ぜる。

## ⑤しょうが香るかぼちゃのポタージュ

<材 料> ・かぼちゃ 70g ・だし汁 75ml ・牛乳 75ml ・こしょう 0.3g  
・おろししょうが 小さじ1/2 ・オリーブオイル 小さじ1 ・パセリ粉 0.3g

<作り方> 1. 茹でたかぼちゃ、だし汁、牛乳をミキサーで攪拌する。  
2. 鍋に①を移して中火弱でかき混ぜながら火を通し、すりおろししょうがを加え、こしょうで味を調える。  
3. 器に盛り、オリーブオイルとパセリ粉をかける。

## 大分県医療生活協同組合

### 地域包括ケア研修会



大分県医療生活協同組合では、6月8日「地域包括ケアシステム研修会」を開催し、組合員と職員あわせて58名が参加しました。

この研修会は、①情勢を学び、「医療生協のまちづくり運動」の意義を理解する②私たちが実践してきたことを再確認し、今後求められる「事業」と「運動」について考える③1人の「困った」に気づき、「ささえあいシート」を活用した支援ができることを目的としており、参加者は、3年間の取り組みの報告などを受けた後、グループに分かれて、医療・介護・くらし・子育てなどについて、職員と組合員がそれぞれ身近な「困った」を出し合い、ワールドカフェ方式で席移動してシェアしながら意見をまとめました。

参加した組合員さんからは、「医療生協の取り組みが多岐にわたりになされていることを知り、自信をもって医療生協を勧めることが出来ます。」と言った感想が出されました。

### 医療福祉生協講座

7月22日、「医療福祉生協講座」を開催し、15名の組合員さんが参加しました。初めに“協同組合とは？生協とは？”のテーマで医療福祉生協の基本を学習し、次に“支部と班活動とは？”“医療福祉生協のまちづくり”のテーマで身近な活動やその意義について学びました。最後にグループごとに分かれ、日々の活動での困りごとや心掛けていること、活動のアイデアなどを共有しました。

参加した組合員さんからは、「協同組合の歴史や存在意義がよく分かった。」「人と人との繋がりがまちづくりを実現するということが分かった。」「みなさんの加入のきっかけや班活動の様子が分かり励みになった。」との声もあり、医療福祉生協への理解を深め、今後の活動に確信を持てる講座になりました。



### 九州・沖縄ブロック組合員交流研修会 in 鹿児島



7月9日～10日、鹿児島で九州・沖縄ブロック組合員交流研修会が開催され、九州各地の医療福祉生協から全体で565名、大分からは37名が参加しました。

1日目は全体会で、NPO法人医療制度研究会副理事長の本田宏医師による記念講演「わたしたちはどう生きるか」や各生協からの報告を聞きました。講演では日本の医療費の在り方、医療崩壊の歴史や切り崩されていく社会保障について、何故病院経営が大変なのかなどをデータをもとに解説。新しい発見があり、参加された組合員さんに好評でした。その後の夕食交流会では、各生協から挨拶と出し物が披露され、大分は「花は咲く」を手話を交えながら合唱しました。

2日目は分科会が行われ、各生協の取り組みを交流しました。

# 大分県福祉生活協同組合

## ふくし生協ファミリーサポート隊

暮らしの中の「困った」を手助けいたします！



主人がしていた庭木の剪定や草刈り、一人になって困っていた事をサポートに頼んだら、とても綺麗にしてくれた。またお願い！（S氏）

● 利用者の声 ●

年末に大けが。急に生活上の事が出来なくなり、困ってしまった時、生協の生活支援を頼んで助かった！（G氏）



庭の除草・庭木の剪定・掃除・洗濯  
不要品廃棄・買い物の付き添い・その他

サポート申込・スタッフ応募のお問合せは  
ふくし生協事務局へお気軽に！

☎ 0974-22-0650 (担当:藤川二郎)



## オレンジサロン「万」 イベントスケジュール

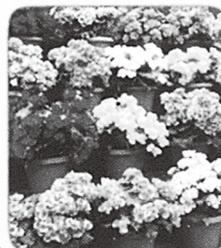
ニコニコオレンジの会(学習会等)  
毎週火曜13:00~15:00

6月

4日 :オムツの種類と活用  
11日:施設交流会  
18日:俳句学習会  
25日:お楽しみ会 (何でも)

7月

2日 :介護保険料の使われ方  
9日 :施設交流会  
16日:俳句学習会  
23日:お楽しみ会 (何でも)



### カフェ ※水・木交互

第1・第3水曜(第5あり)  
第2・第4木曜



気楽に自由にお過ごし下さい。

## ふくし生協『デイサービスセンターニコニコ村』通信



昨年9月の開所より、7か月が経過しました。  
利用者登録人数も徐々に増え、現在は、  
毎日平均6名のご利用があります。  
サービス内容は一日3回のリハビリ体操を基本に、  
レクリエーションを自在に組み合わせています。

利用者様が異なれば、その日の取り組み内容も異なります。  
機能訓練への取り組みとしては、楽しく、無理なく  
レクリエーションを通して身体を動かしていただきます。

その人にしかない笑顔と笑い声を、その時にしかない笑顔と笑い声を、  
利用者様と職員が一体となり紡ぎ出します。(デイサービスセンターニコニコ村所長 神田登史)



● ご利用のお申し込み、ご相談はデイサービスセンターニコニコ村まで ☎ 0974-22-5850



## 2019年度第1回理事会報告

1. 日時 2019年6月20日(木) 16時45分～16時50分
2. 会場 大分市中央町「ソレイユ」7階カトリア
3. 出席者 理事総数13名中13名出席、監事総数2名中2名出席

### 議 題

#### 4. 議 事

##### <審議事項>

- (1) 専務理事の選任について
- (2) 役員退任慰労金の支給について

## 2019年度第2回理事会報告

1. 日時 2019年7月23日(火) 13時00分～14時20分
2. 会場 大分市中央町「ソレイユ」7階ローズ
3. 出席者 理事総数13名中12名出席、監事総数2名中2名出席

### 議 題

#### 4. 議 事

##### <報告事項>

##### (1)活動報告

- 6/20 生協県連第66回通常総会、第1回理事会
- 22 大分県医療生協第38回通常総会
- 23 大分県福祉生協第14回通常総会
- 25 生協コープおおいた第68回通常総代会
- 30 大分県勤労者医療生協第38回通常総会
- 7/ 3 生協県連第1回組織委員会
- 17・18 日生協第1回県連活動推進会議

##### (2)会員生協報告

##### (3)2019年度会員生協監事研修会の日程と内容

##### <協議事項>

- (1)第29回県議会議員との懇談会の日程変更について
- (2)「2020年度県行政への要望書」の提出について
- (3)2019年度各部会の開催について
- (4)2019年度役員視察研修について

##### <その他>

- (1)2019年度第1回理事会議事録
- (2)2019年度損益計算書(2019年4月～6月)
- (3)当面の取組日程

